

○ 小学校社会 第6学年 ⑤

「生活と政治」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	公共事業と税金との関係を理解した上で、公共事業に該当するものを選択し、選択した公共事業の果たしている役割について説明させる問題である。	(2)ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。 公共事業や財政と租税との関連について、提示資料や既習知識をもとに思考・判断していく力を問う活用問題である。		◎	○
(2)	提示された2つのグラフを比較し、必要な情報を読み取らせる問題である。	問題を解く際には、各テキストから必要な情報を読み取った上で、それぞれの情報どうしを比較・関連付けて考察していく力が特に必要である。		◎	
(3)	税についての既習知識を活用し、提示された説明文の正誤について判断させる問題である。		○		◎
(4)	提示された複数の資料や会話文から必要な情報を的確に読み取った上で、それらの情報を関連付けながら、社会保障費の増加と高齢者人口割合増加との関連について考察し、考察結果を説明（表現）する力をみる問題である。		◎	○	